

2009年6月15日

各位

薬剤部/薬品情報室 (DI室)

DI・BOX#0374

「チラーチンS散」のオーダ名およびオーダ単位変更について

甲状腺ホルモン「チラーチンS散」(あすか)は、発売当時の薬価の取載単位が「mg」表示であったため、これまでオーダ名およびオーダ単位に「mg」表示を用いてきました。


しかし、現在では「 μg 」表示の方が一般的であるため、薬価の取載単位が「 μg 」表示へ変更されております。

このため、当院においてもオーダ名を「 μg 」表示とし、オーダ単位に「 μg 」表示を追加しました。

平成21年6月19日(金)より、オーダ名は「チラーチンS散0.1mg/g」から「チラーチンS散100 μg /g」へ変更し、オーダ単位に「 μg (分量)」を追加します。

チラーチンS散のオーダ単位の優先順位は「 μg (分量)」、「g(製剤量)」、「mg(分量)」の順となりますのでご注意ください。

なお、オーダはDO処方可能ですが、可能な限り「 μg 」単位での再入力をお願いします。

	変更後	変更前
オーダ名	チラーチンS散 100 μg /g	チラーチンS散 0.1mg/g
成分名 規格	レボチロキシナトリウム 100 μg /g	レボチロキシナトリウム 0.1mg/g
適応症 用法用量	乳幼児甲状腺機能低下症 乳幼児1回10 μg /kgを1日1回服用 未熟児に対しては1回5 μg /kgから 投与を開始して8日目から1回10 μg /kg を1日1回服用 年齢、症状により適宜増減	
オーダ単位 (数字は表示 の優先順位)	① μg (分量) ② g (製剤量) ③ mg (分量)	① g (製剤量) ② mg (分量)
オーダ名、オー ダ単位の変更	2009年6月19日(金)から	2009年6月18日(木)まで